

— ゆたかな創造力、たしかな技術 —
新和設計 株式会社



所在地：〒992-0021 山形県米沢市花沢880
TEL : 0238-22-1170
FAX : 0238-24-4814
URL : http://www.shinwasekai.co.jp
従業員：50名
創立年：1968年2月13日
代表者：代表取締役 伊藤 篤



本社屋



倉庫の雪下ろし(年に1、2回)



雪灯笼の製作風景(上杉神社境内)



雪灯笼にあかりが灯る夜の風景



二面の人工芝サッカー場



国道改築(こ道橋)



まちなか歴史公園



砂防ダムえん堤



国道改築(4車線道路)と付替河川



河川清掃ボランティア(年6回実施)



摺上川ダム天端工(高欄、照明灯)



大規模地すべりの地質調査

沿革

当社は昭和43年に山形県米沢市に創業しました。社名を「新和調査設計事務所」とし、Uターンした若き3名の技術者が中心となって、地質調査業を中核に据え、測量、設計と連携した技術力を発揮し、地域のニーズに応じて参りました。平成9年には、地域の総合建設コンサルタント会社として一層の飛躍を目指し「新和設計」と社名を改め、幅広い技術分野で事業を展開しております。

経営理念

「技術を通じて社会の発展に貢献し、技術の研鑽と伝承により社員と利害関係者の幸福のために邁進する」という経営理念のもと、社員一同、業務の社会的な役割を認識して行動し、最新・最適な技術を提供し続けます。

月例研究会

平成15年より、それまでの完全週休二日制を崩して第一土曜日を出社日とし、技術管理室が主導する「月例研究会」を定例として開催してきました。

各部門からの事例発表、技術報告、品質活動など

の多彩な内容に社員自らが参画し、丸10年が経過しました。技術情報の共有が図られ、技術者のプレゼンテーション力向上にも効果が見られます。今後も、内容の刷新充実を図りながら継続して参ります。

地域との関わりを大切に

四季折々豊かな表情を見せる米沢で、地域貢献にも力を入れております。主な活動は、春・夏・秋の河川清掃(市内松川河岸、最上川水辺の楽校)、冬の風物詩である上杉雪灯笼まつりへの参加です。厳寒のなか、社員が削りだした雪灯笼は、冬の米沢にやさしいあかりを灯します。

東日本大震災では、直接の被害はありませんでした。当社は、被災地の隣接県にあり、発災翌日から要請に応じて緊急点検、災害査定、その後の復興支援業務に可能な限り協力させていただきました。

山形は比較的自然災害が少ない土地ですが、それでも融雪期の地すべりや雪崩災害、ゲリラ豪雨による冠水被害など、緊急対応を要する大小の災害が頻発します。速やかな復旧支援に対応することも、地域における私どもの使命と認識しております。

価値ある環境の創造

業務を通じて、よりよい環境を創出することは、当社が長年取り組んでいるテーマです。

雪深い米沢市街地には、流雪溝が欠かせません。普段は側溝、冬は雪捨て場となる流雪溝の面的整備計画にも長年取り組んで参りました。冬季の積雪という地域特性は必須の設計条件です。昨年米沢市内に完成した、まちなかに残る旧家の屋敷神を生かした「歴史公園」と、市内初の二面の「人工芝サッカー場」の設計でも、おおきな検討課題でした。

山形県内では、ミッシングリンクの解消に向けて、国幹道の建設が進められる一方で、既存施設の老朽化に伴う長寿命化施策が鋭意進められております。

山形県は現在「長寿命化対策実施橋梁数全国一位」と積極的に橋梁補修に取り組まれており、さらに樋門樋管や砂防えん堤なども総点検、修繕が進められております。

当社は、地域に精通した地元企業として、点検や補修に関する新しい知見を取り入れながら、長寿命化というテーマに取り組んで参ります。

ゆたかな創造力、たしかな技術

設立45周年を機に、社員から公募して決定した新たなキャッチフレーズが「ゆたかな創造力、たしかな技術」です。当社は、オンリーワンの先鋭的な技術を保持することは困難ですが、GISやMMS、FEM解析技術等を業務に応用し、様々なニーズに応じて参ります。

当社は、もうすぐ50周年の節目を迎えます。夏は猛暑、冬は豪雪となる極端な気候、平地に軟弱地盤、山地に地すべり地帯を抱える複雑な地形地質、都市化と限界集落が混在し、高齢化と少子化が進むこの愛すべき「山形」にあって、一年中美味しいものに囲まれて仕事ができることに感謝し、地域特性により培われた技術にさらに磨きをかけ、安定した経営を維持し、人材確保と技術継承に努め、優れた技術を提供し、元気で存在感のある建設コンサルタントを目指していきます。

「がんばろう東北」。

(文:コンサルティング事業本部長 湯澤洋一郎)